

地球のワクワク！発見しよう

# こどもエコクラブ

私が主役！なかまと一緒に未来をつくる

2017年度 事業実施報告書



公益財団法人日本環境協会  
こどもエコクラブ全国事務局

〈後援：環境省〉



## はじめに

2015年に国連で採択された持続可能な世界を実現するための17のゴールからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」が多くの企業や団体に認知されるようになってきました。既存の活動をSDGsの項目に単純に当てはめるだけではなく、経営戦略に組み込んで本気で取り組む企業も増えています。社会全体が持続可能な方向に舵を切りつつある今、それを推進するための人づくりはますます重要になってきています。

国内では2017年、地域のステークホルダーが分野横断的に連携・協働して持続可能な開発のための教育(ESD)を推進する地方ESD活動支援センターが全国8カ所に設置されました。また、10年ぶりに改訂された学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び(いわゆるアクティブ・ラーニング)」を充実させることが明記されるとともに、その際には体験活動を重視することも強調されています。

子どもの自主性を尊重し環境学習・環境活動に取り組むこどもエコクラブは、20年以上にわたり持続可能な社会づくりを担う人づくりを地域の大人がサポートしながら進めてきており、まさに上記の方針に沿った事業であるといえます。2017年度は1,852クラブが登録し、101,657人の子どもたちが全国各地で様々な環境活動に取り組みました。66の企業・民間団体が協賛、寄附およびプログラムの共同事業等でご支援くださったほか、508の地方自治体に地域事務局として地域活動を支援いただきました。

企業・民間団体との協働事業では、こどもエコクラブの多様性を活かし、企業のニーズや業種の特性に対応した様々な形・内容のものが生まれています。昨年夏、外来危険生物のヒアリが日本に侵入したことが話題になりました。これを受け、外来種を含む危険生物の特徴や予防・対処方法を学ぶことができるカードゲーム型の教材を、アース製薬株式会社の支援を受けて制作しました。

こどもエコクラブでは、クラブから提出された活動レポートや壁新聞に専門の先生からのコメント・助言をお返しすることでクラブの活性化・活動のステップアップを支援しています。それを更に進め、クラブのアクションや事務局からのサポート内容なども記録できるデータベースを設置しました。今後、アンケートやヒアリング等を通じて各クラブの特徴やニーズを把握し、それに合わせたきめ細かなサポートを実施していきます。

こどもエコクラブ全国事務局は、将来を担う世代の育成のために、多様な組織や人の参画と協力のもと、全国のクラブの活動を支援するとともに事業を継続・発展させる取組を2018年度以降も推進して参ります。引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

こどもエコクラブ全国事務局



# 目次

◎ はじめに	3
◎ こどもエコクラブのビジョン・ミッション	5
◎ 2017年度のハイライト	6
◎ 事業報告	10
○ 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり	10
(1) こどもエコクラブの認知度向上	
(2) こどもエコクラブへの登録促進	
○ 環境活動・学習の活性化促進	16
(1) ウェブサイト・メール等を通じた情報提供	
(2) 教材・プログラムの提供	
(3) 活動レポート、壁新聞へのフィードバック	
(4) 企業との協働推進	
(5) All Japan Youth Eco-club	
○ 環境活動・学習の意欲の向上、ステップアップ	23
(1) 地域活動活性化	
(2) 全国規模での交流と顕彰	
(3) 他団体からの表彰	
◎ 地域事務局の取組事例	29
◎ 協賛・協力いただいた企業・団体	34
◎ 登録データほか	35
◎ エコ活コンクール 受賞作品	39

## ◎ こどもエコクラブのビジョン・ミッション

「こどもエコクラブ」は以下のビジョンとミッションを掲げ、子どもたちが人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的として、幼児(3歳)から高校生までの子どもたちを対象に、子どもたちの自主的な環境活動をサポートしています。

### ◎ ビジョン(=理想の未来)

だれでも参加できるこどもエコクラブが学校、市民グループ、企業等各主体をつないで、持続可能な地域社会に向けて活動を行っている。

### ◎ ミッション(=なすべきこと)

1. 環境学習・環境保全活動を通じて、子どもたちの「未来を創る力」を育てる。
2. 地域において環境に関心を持つ人を増やし、環境保全を促進する。

上記のビジョン・ミッションの下、2017年度は、

- 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり
- 環境学習・環境活動の活性化
- 環境学習・環境活動の意欲の向上・ステップアップ

の3つの柱を掲げて様々な活動に取り組んできました。





## ◎2017年度のハイライト

### ◎危険生物カードゲーム「WARNING!!」の制作

2017年夏、南米原産の外来種・ヒアリの発見が各地で相次ぎ、「殺人アリ」と呼ばれるなどのセンセーショナルな報道がされました。また、数年前には蚊が媒介するデング熱の発症例が日本で見つかったほか、マダニによる感染症で死亡する人も出ています。危険生物へのおそれが国内で高まる中、正しい知識や予防・対処法を身につけることが必要となっています。

そこで子どもエコクラブでは、アース製薬株式会社のご支援を得て、ミュージアムパーク茨城県自然博物館の協力、テレビでおなじみの国立環境研究所・五箇公一先生の監修により、危険生物カードゲーム「WARNING!!」を制作しました。

子どもたち自身で危険生物の生態や見分け方、被害を防ぐ方法や被害にあったときの対処の仕方を正しく知り、自身の命と安全を守る力を身につけてもらうこと、危険な生き物も生態系の中で役割を果たしており、ただ根絶させればよいわけではないことを理解してもらうことを目的としています。野外での活動や日常生活の中でであう可能性のある30種類の「危険生物カード」と、その生息地を示した「すみかカード」などが収録されており、カードを見るだけでも様々な知識が身につきます。また、小さなお子さんでも楽しめる遊び方も紹介しています。



危険生物カード



すみかカード



完成したカードゲームは、2018年3月に開催された全国フェスティバルのアース製薬ブースでお披露目し、参加クラブにおみやげとしてお渡ししました。その後、全国の希望するクラブへの配布を行っています。

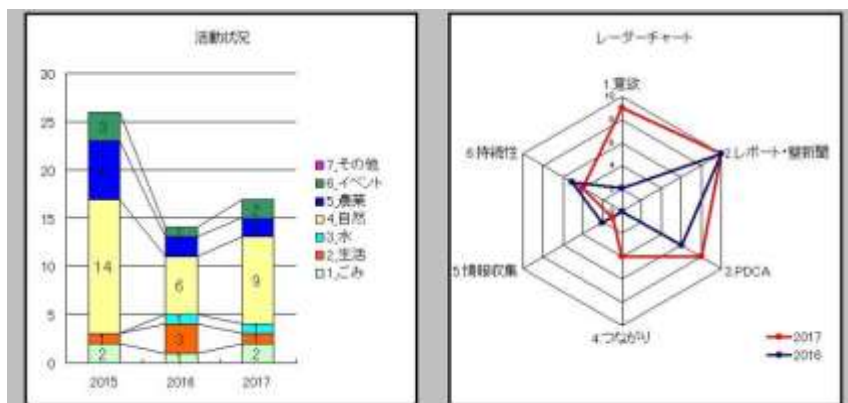
## ◎ クラブの活性化に向けた支援体制の整備

こどもエコクラブでは、クラブから投稿される日々の活動レポート、エコ活コンクール  
の作品として応募される1年間の活動をまとめた壁新聞の全てに対し、環境カウンセラ  
ー等の専門の先生からコメント・助言をお返しています。個々のクラブの興味・関心や  
活動内容を把握し、それに合わせた励ましやアドバイスをおくることにより、クラブがより  
元気に活動したり、発展的な活動にチャレンジしたりするようになることをめざしていま  
す。

この取り組みを更に進め、よりきめ細かなサポートを実施するために、クラブの特性  
や興味・関心、活動状況に加え、事務局からの働き掛け等の情報も記録できるデータ  
ベース「こどもエコクラブカルテ」を整備しました。今後は、カルテの運用を通してそれぞ  
れのクラブの活動を特性に合わせて強かにサポートしていきます。

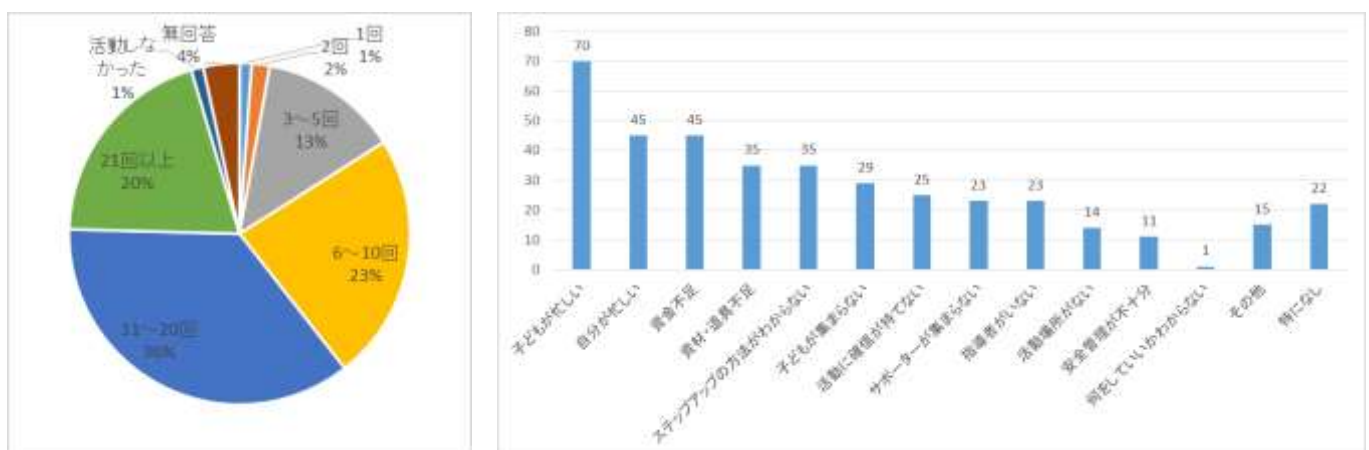
その一環として、クラブの活動状況や子どもたちの様子を知るためのアンケート(試行  
版)を実施し、175クラブから回答を得ました。アンケートは今後毎年実施し、各クラブの  
回答を蓄積してより効果的なサポートのあり方を検討する際の資料として活用します。  
また、集計結果はウェブサイトに掲載するとともに詳しい分析を行い、こどもエコクラブ  
での活動を通じた子どもの成長の様子などを明らかにしていく予定です。

### 【こどもエコクラブカルテ】



クラブの活動状況、成長の様子を表示

### 【アンケート結果(抜粋)】



1年間の活動回数

活動における課題



## ◎ Project-D: 里親が育てた苗木の植樹が完了

2011年3月に発生した東日本大震災の被災地復興に、子どもたちが貢献できる活動を、という思いから生まれた Project-D。岩手・宮城・福島 の 3 県で採集したどんぐりを、こどもエコクラブをはじめとする全国の人たちが育て、被災地に植え戻して緑の復興を応援するプロジェクトです。2011年の秋にどんぐりを拾うところからスタートし、延べ614団体、16,274人が苗木の里親として参加されました。

育てた苗木は2015年から福島県郡山市に、2016年には宮城県東松島市に植えてきましたが、最後の岩手県の植栽場所が北上市に決まり、2017年5月に植樹を行いました。プロジェクトの趣旨に賛同いただいた三菱製紙株式会社が工場に隣接する社有地を提供くださったほか、同社の環境学習プログラム「エコシステムアカデミー」の講師のみなさんに植樹の指導もしていただきました。自分たちで育てた苗木を持ってきてくれた秋田県のクラブと、地元北上市のクラブのみなさんが参加して、約150本の苗木を植えました。

プロジェクト開始から5年半、里親のみなさんが育てた苗木を全て被災地に植え戻すことができました。これからは、下草刈りなど苗木を元気に育てるための活動を継続していきます。





## ◎ ユース世代が大活躍

こどもエコクラブのOB・OGで構成される若者のネットワーク「All Japan Youth Eco-club」。中心メンバーが社会人となり、定期的が集まることが難しくなったものの、SNSを活用してコミュニケーションをとりながら活動を継続し、様々な場面で存在感を発揮しました。

### (1) 大阪府「環境キッズファミリー交流フェスタ」ステージ出演

11月5日に大阪府の「さきしまコスモタワー」で開催された「環境キッズファミリー交流フェスタ」に、大阪のユースメンバーが参加しました。「エコアクション占い」のブースを出展したほか、ステージで All Japan Youth Eco-club の活動紹介をしたり、自分たちで企画したプログラム「箱の中身はなんだろうクイズ」で参加者と一緒に盛り上がり、こどもエコクラブの魅力を存分に伝えてくれました。



### (2) 全国フェスティバル

関東だけでなく、愛知、大阪、徳島からユースメンバー7人が集まり、前日の準備からしっかり手伝ってくれました。当日も息のあったところを見せて司会の大役を見事に務めたほか、参加した現役メンバーたちにやさしく声をかけて緊張をほぐしてくれました。頼れるお兄さん、お姉さんの姿は、現役メンバーの目標になったことでしょう。ユースメンバーには今後も、全国フェスティバルの企画・運営のお手伝いをさせていただき予定です。



### (3) サポーター交流会

全国フェスティバルの中で行われたサポーター交流会では、グループディスカッションの進行・まとめ役を務めました。ユースメンバーにとっては、経験豊富なサポーター・コーディネーターの話を聞く貴重な機会となりましたが、サポーター・コーディネーターにとっても若い世代の意見や考えに触れることは大いに刺激になったようです。



# 事業報告

## 環境学習・環境活動に取り組むきっかけづくり

### (1) こどもエコクラブの認知度向上

#### ◎ウェブサイト、SNSを通じた広報

こどもエコクラブの事業紹介のほか、クラブからの活動レポートや全国フェスティバルをはじめとするイベント報告を掲載し、こどもエコクラブ事業全体のみならず個々のクラブの活動についても積極的に発信しています。

2017年度の合計ページビュー: 488,891PV

2017年度の合計訪問者数: 135,275 ユーザー

また Facebook や Twitter を活用したリアルタイムの情報発信も行っています。



Facebook「いいね!」: 1,205 件  
フォロワー: 1,176 人 (2018年3月)



各地域担当別 Twitter  
地域に合わせた情報を発信  
合計フォロワー数: 2,359 人

◎外部メディアの活用

環境省・文部科学省など官公庁の記者クラブや、地方紙等へのプレスリリースを行いました。壁新聞の受賞の話題を中心に、以下のとおり各紙・メディアに記事が掲載されました。

【新聞】

新聞名	日付	記事タイトル
下野新聞	2017年5月20日	「エコ活コンクール」で最高賞 壁新聞など評価 宇都宮の清原保育園
日本経済新聞	2017年5月23日	小学校卒業後もエコ活動続けて 日本環境協会が受け皿
北陸中日新聞	2017年5月25日	育て グリーンカーテン 伏木保育園児、ゴーヤー苗植え
陸奥新報	2017年5月29日	全国エコ活コン絵日記部門 山谷さん(HEP21)最高賞
東奥日報	2017年5月30日	全国大会で好成績 HEP21 エコクラブ教育長に活動報告
東奥日報	2017年5月31日	緑と太陽の保育園グリーン・キッズ 2度目の「エコまる賞」
デーリー東北	2017年5月31日	全国エコ活コンクール壁新聞幼児部門 グリーン・キッズが最高賞
秋田魁新報	2017年6月4日	エコ活動を壁新聞に
産経新聞	2017年6月21日	ふるさとの記憶、絵屏風に・・・滋賀・甲賀市の高齢者たちが制作
教育新聞	2017年6月25日	冊子「災害から学ぼう」を作成 子供目線で防災を啓発
毎日新聞	2017年7月8日	10人の学生が活動 「玉ねぎ染色」実験で小学生に「食育」
住宅新報	2017年7月11日	団地の自然 港南台自然観察クラブ
釧路新聞	2017年7月24日	「ウチダザリガニ」親子で捕獲・試食体験／温根内ビジターセンター
紀伊民報	2017年8月4日	梅と米で食育交流 みなべ町と南魚沼市の児童
日高新報	2017年8月5日	みなべと南魚沼市の児童が交流
紀伊民報	2017年9月3日	入居者と人形作り 上富田の放課後子ども教室
中日新聞 緑区 ホームサービス	2017年9月9日	「国土交通大臣賞」に今村駿斗君
読売新聞 (秋田県版)	2017年11月21日	絶滅危惧淡水魚 生態に迫る
茨城新聞	2017年12月15日	都内でホテルの再生活動報告
釧路新聞	2018年1月4日	釧路湿原 現状を壁新聞に／こどもエコクラブ
佐賀新聞	2018年1月19日	マックスバリュ九州、こどもエコクラブに支援物品
読売新聞	2018年2月15日	危険な生き物 カードで学ぶ
埼玉新聞	2018年2月20日	見沼田んぼに春
中日新聞	2018年3月30日	湖西の自然クラブ県庁で受賞を報告



デーリー東北  
(2017.5.31)



埼玉新聞  
(2018.2.20)



【自治体広報紙・ウェブサイト】

自治体名	発行/ 掲載時期	記事タイトル
熊本県	2017年度	広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)「環境大臣賞」(最高賞)受賞!
島根県	2017年4月	3月29日(水)上津探検隊全国エコ活コンクール特別賞受賞の知事報告
岐阜県岐阜市	2017年6月	平成29年度 岐阜市子どもエコクラブ発足式
徳島県阿南市	2017年7月	平成29年度阿南市子どもエコクラブ事業の環境学習(工場見学等)の実施について



熊本県環境センターだより  
(熊本県)



岐阜市ウェブサイト  
(岐阜県岐阜市)

【その他】

媒体名	発行時期	記事タイトル
大分県応援団「鳥」のめじろんのブログ「めじろぐ」(大分県)	2017年4月	子どもエコクラブ
エコチル(アドバコム発行)	2017年4月	イベント情報「親子で楽しむ野外教室」
学科からのお知らせ(目白大学ウェブサイト)	2017年4月	児童教育学科石田好弘ゼミが「子どもエコクラブ」でボランティアを行いました
エコチル(アドバコム発行)	2017年5月	子どもエコクラブ 地球にいいことはじめよう
とちテレニュース(とちぎテレビ)	2017年5月	清原保育園 環境活動の全国コンクールで賞を受賞
スタッフブログ・活動レポート(栃木県地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト)	2017年5月	子どもエコクラブエコまる賞 清原ねいちゃーキッズ
エコチル(アドバコム発行)	2017年6月	子どもエコクラブ 地球にいいことはじめよう
技術士だより・九州(日本技術士会九州本部発行)	2017年7月	子どもエコクラブの応援団!
CSRニュース(バンダイナムコホールディングスウェブサイト)	2017年6月	バンダイナムコグループ CSR 活動「田植え体験」に参加
子ども環境学研究(子ども環境学会発行)	2017年8月	災害を体験した子どもたちからのメッセージ
デイリーニュース(J:COM かながわセントラル局)	2017年8月	あやせエコクラブ「デイキャンプ」
BANDAI NAMCO NEWS(バンダイナムコホールディングス発行)	2017年9月	グループ社員が田植えを体験



媒体名	発行時期	記事タイトル
RIVER FUND 河川基金だより (河川財団発行)	2017年10月	平成29年度河川基金 研究成果発表会
月刊廃棄物(日報ビジネス発行)	2017年12月	環境学習プログラムとして自治体での活用を
身近な水環境の全国一斉調査2017(全国水環境マップ実行委員会発行)	2017年12月	IV各ブロックでの調査結果 四国地方
エコニュース(日経BP環境経営フォーラム)	2017年12月	日本環境協会、危険生物の知識や予防・対処法が身に付くカードゲーム教材を制作
読売ワークシート通信(読売教育ネットワーク発行)	2018年2月	危険な生き物、カードに
MSC(海洋管理協議会)日本事務所ブログ	2018年2月	京都・木津川市「こどもエコクラブ」のとってもサステナブルな料理教室
新潟県教育月報(新潟県教育委員会発行)	2018年3月	地域の自然や人材を活用した特色ある環境教育の取組
ながさき まなびネット(長崎県教育庁生涯学習課発行)	2018年3月	ご家族四人で奨励証を受賞された黒田さん御一家を取材しました!
ニュースリリース(三井化学ウェブサイト)	2018年3月	「こどもエコクラブ全国フェスティバル2018」に参加



エコチル 6月号(アドバコム)



技術士だより・九州  
(日本技術士会九州本部)



BANDAI NAMCO NEWS  
(バンダイナムコホールディングス)



月刊廃棄物  
(日報ビジネス)

◎イベント等への出展・参加

関東地方を中心に、自治体や団体が主催する環境イベントに参加・出展しました。参加者に楽しいプログラムを提供しながら、こどもエコクラブの紹介と勧誘を行いました。

実施日	イベント名	主催者	内容
2017年 6月4日	いちかわ環境・防災フェア 2017	市川市	フォトコンテスト投票、 エコみくじ
2017年 6月25日	大袋東小学校 エコフェスティバル	越谷市立大袋東小学校	こどもエコクラブ登録式に出 席
2017年 6月25日	第20回記念 浦安市環境 フェア	浦安市	フォトコンテスト投票、 エコみくじ
2017年 8月2、3日	子ども霞が関見学デー	環境省	壁新聞展示
2017年 9月23日	子どもとためす環境まつり 2017(東京都中央区)	「子どもとためす環境 まつり」実行委員会	新聞紙が大変身★オシャレ なバッグを作ろう！
2017年 9月30日、10 月1日	グリーン・チャレンジデー 2017 in 新宿御苑	GTF グレーター トウキョ ウ フェスティバル実行 委員会	こどもエコクラブによる活動 紹介
2017年 11月5日	環境キッズファミリー交流フ ェスタ	豊かな環境づくり大阪府 民会議・大阪府	アースレンジャー占い
2017年 10月28～30日	環境活動登録団体紹介展 「環境活動フェス2017」 (東京都中央区)	中央区	壁新聞展示
2017年 12月2日	SAITAMA 環境フェア & こどもエコフェスティバル	埼玉県	エコクリスマスカードづくり
2017年 12月7～9日	エコプロ2017	一般社団法人産業環境 管理協会、 日本経済新聞社	こどもエコクラブ事業紹介
2018年 1月27日	新宿の環境学習応援団 まちの先生見本市	NPO 法人新宿環境活動 ネット	フォトコンテスト投票、 エコみくじ
2018年 1月27日	第17回草津市こども環境 会議	草津市こども環境会議 実行委員会	壁新聞展示
2018年 2月3、4日	こうち環境博2018	特定非営利活動法人環 境の杜こうち	壁新聞展示



第20回記念 浦安市環境フェア



グリーン・チャレンジデー2017 in 新宿御苑



環境キッズファミリー交流フェスタ



新宿の環境学習応援団  
まちの先生見本市

### ◎広報ツールの貸出

地方自治体等に、広報ツール(前年度に子どもたちが年間の活動をまとめた壁新聞、エコまる旗、エコまる着ぐるみ、事業紹介パネル等)を貸し出しました(旗:8ヶ所、パネル:3ヶ所、エコまる着ぐるみ:8ヶ所、壁新聞10ヶ所)。



壁新聞



エコまる旗・着ぐるみ



事業紹介パネル

### (2) こどもエコクラブへの登録促進

環境活動を行う幼児(3歳)から高校生の子どもと、子どもたちの活動を支援する大人(サポーター)で構成したクラブの登録を受け付け、一元的な情報管理を行いました。

平成29年度の登録数は、クラブ数:1,852クラブ、メンバー数:101,657名、サポーター数:17,254名で、これまでの延べ登録メンバー数は約240万人となりました。

また、登録数の増加を目指し、以下のような取り組みを行いました。

### ◎ポスター・パンフレットの配布

本事業に賛同して地域事務局として登録した地方自治体および関係方面に、クラブの募集ポスター、チラシを希望数配布しました。また、希望する自治体には版下用データを送付し、地域事務局名を入れた独自のポスターを制作できるようサポートしました。なお、チラシについてはこどもエコクラブウェブサイト内でも掲載し、適宜ダウンロードすることができるようにしました。



ポスター



チラシ

### ◎メンバーズバッジの配布

こどもエコクラブメンバーの証であるメンバーズバッジを制作し、登録したクラブメンバーへの特典として配布しました。バッジの色を毎年変更することで、子どもたちの活動継続へのモチベーション向上に役立っています。

※クラブの個人情報は弊協会プライバシーポリシーにのっとり、適切に管理しています。  
※都道府県別登録数、学年内訳等は、P.35「登録データ」を参照。





## ◎ 環境活動・学習の活性化促進

### (1) ウェブサイト・メール等を通じた情報提供

サポーター向けコンテンツとして、助成金情報や地域別のイベント情報の掲載行っています。また、「リアルヴォイス」として、他のクラブが取り組みたいくなる優良プログラムを紹介しています。これらを含めた更新情報を取りまとめてお知らせするメールマガジン「サポーターインフォメーション」を月2回配信しています。

また、クラブの形態・関心分野に合わせてカスタマイズした活動事例やプログラム情報を提供する「メール版 JEC プレス」を7月に配信しました。



リアルヴォイス

### (2) 教材・プログラムの提供

#### ◎手帳、エコカード等の作成・配布

子どもたちの活動への意欲・継続意識の促進を目的として、日頃の活動を記録するメンバー手帳を希望するメンバーに実費頒布しました。

また、小学校入学前のメンバーを対象としたツール「ぼくの/わたしのエコカード！」(20,000部)を作成、チャレンジしてほしいエコな行動をエコまるたちのイラストで紹介し、希望する未就学児がいるクラブに送りました。

サポーター(大人)向けには事業趣旨や活動時の支援内容等を記載した「応援マニュアル」(3,000部)を作成、新規登録クラブに配付しました。



メンバー手帳



エコカード



応援マニュアル



## ◎プログラム・講座の実施

自治体やクラブの要望を受け、環境学習プログラムや講座を実施しました。



「エコってどうして必要？」  
(おうめこどもエコクラブ)



エコビル探検隊  
(東京都中央区)

## (3) 活動レポート、壁新聞へのフィードバック

### ◎エールメッセージ

クラブから寄せられる活動レポートに対して、応援団(環境カウンセラーや協会のこども環境相談室・相談員等の環境に知見のある有識者)からのエールメッセージ(活動の発展につながるコメントやアドバイス)を、投稿後2週間以内に送付しています。平成29年度は1,082件の投稿があり、その全てにエールメッセージをお返ししました。

### <掲載例>

#### ○丸太切り体験とオリジナル作品作成!

北区赤羽公園のイベント「ほっと縁市」にて、ボーイスカウトとして体験コーナーに出展しました。たくさんの子供達が丸太切り・表面をヤスリでツルツルにしてから、絵を書いてオリジナル作品を製作しました!

丸太から様々なものが作れること、自分だけの作品が出来たことに子供達は大満足の様子でした♪

#### 参加者のようす

参加された子供達は年齢もさまざま。。。子供の切りたい大きさに合わせた丸太を選び、難しいときには親御さんのお力もお借りして、頑張っていました!

#### 感想・気づいたこと・考えたこと

モノがあふれる現代においては、普段使ってるものが原料からどのように作られているのか、親子さんともども、想像すら難しいでしょう。このような体験は非常に貴重なもので、今後も同様な活動を続けたいと思います。



#### ○コメント

##### 【メンバーの皆さんへ】

ボーイスカウト東京北三団のみなさん、こんにちは。

丸太から個性豊かな作品ができましたね。時間をかけて作った分、子どもたちのよい思い出とお土産になったと思います。

今回材料にした丸太はどこに生えていた木だったのでしょうか?また何の木を使ったのでしょうか。木によって模様や硬さ、重さが違いますよね。さらに同じ種類の木でも、生えている場所や育て方によって高さや太さが変わります。昔の人はそのことを良く知っていて、作る製品によって木を選んでいました。

このようなことも考えながら作品づくりをすると、原料の木のことをより想像しやすくなるかもしれないですね。

ボーイスカウトのみなさんは普段から手を動かすことに慣れていると思います。今回のようなイベントに参加することで、道具の使い方や注意する点など、みなさんの知識をいろいろな人に教えてあげることができますね。すごいことです!

これからも楽しく元気に活動を続けていってください。



## ◎壁新聞道場

平成 28 年度に提出された、1 年間の活動をまとめた壁新聞全 212 作品に対して、環境に知見のある有識者（環境カウンセラーや子ども環境相談室・相談員等）による、壁新聞のまとめ方や効果的な伝え方、活動の発展につながるコメントやアドバイスを付し、「壁新聞道場！」としてウェブサイトで紹介しました。



### 師範から一言！

地図が新聞のまん中にあり、とても目を引く配置ですね。それぞれの記事もきれいにまとめられていて、読みやすい壁新聞です。

地球温暖化の記事では、温暖化のしくみをチャート図にしてあるので、とても分かりやすいですね。自動車よりも、電車やバスの方が良いこと、もっと近い場所であれば自転車や歩きにすれば排気ガスが全くでないことがまとめられています。

この温暖化を防ぐ交通手段のことと、クールスポットの紹介の記事、そして地図にはクールスポットの場所と鉄道の情報が書き込まれています。それぞれ関連した記事になっていて、ステキな壁新聞ですね！市川に住んでいるたくさんの人にも見てほしいなあと思います。

### とっておきのゴジドウ★

・私がこの新聞で一番ステキだなあと思ったところは、交通の説明の最後に書いてあった「ぼくは電車が好きです」というところと、電車の絵のところに「地球鉄道」と書いてある部分です。温暖化を防ぐことができる鉄道は、まさしく地球鉄道ですね！私も電車がとても好きです！

・観察会の記事も、それぞれの生き物の特徴などが分かりやすくまとめられています。生き物のすみかがどうなっているのか、観察会では何匹ぐらい見つかったのかなど、みなさんが発見したことを、またぜひ教えてくださいね。

## ◎活動レポートフォトコンテスト

活動レポートと一緒にクラブから寄せられる写真を活用したフォトコンテスト（協賛：ケニス）を 3 期に分けて実施・表彰して、活動報告の投稿を促すとともに、受賞作品を広報資料に掲載するなど写真を活用して元気に活動する子どもたちの様子をアピールしました。

また、3 月に実施した全国フェスティバルにおいて、1 期～3 期の全ての入賞作品を展示して、全国フェスティバルの全参加者による投票を行い、年間賞を決定、表彰を行いました。



■平成 29 年度子どもエコクラブ賞  
第二上田小学校エコクラブ（新潟県南魚沼市）  
「川遊び」



■平成 29 年度ケニス賞  
横浜ハッケンジャー（神奈川県横浜市）  
「矢上川のうなぎを捕まえてみよう」



### ◎新人賞、皆勤賞

毎月1回、その月に初めて活動レポートを投稿してくれたクラブの中から抽選で1クラブに「活動レポート新人賞」を贈呈しました(協賛:バンダイナムコホールディングス)。

また、新たに活動レポート皆勤賞を設け、季節ごとに1回以上(合計4回以上)活動レポートを送ってくれた23のクラブを称えました。

フォトコンテスト及び新人賞、皆勤賞は、より多くのクラブから活動レポートを投稿してもらうことをねらって実施しているものです。今年度の投稿クラブ数は106でした。

## (4)企業との協働推進

### ◎企業からの支援

アース製薬(P.6)のほかにも、様々な企業・団体様に子どもエコクラブとの連携・協力活動を実施していただきました。ウェブサイトやメールを通してサポーターやコーディネーター(地方自治体の子どもエコクラブ担当者)に活動の周知を図り、多くの子どもたちに参加していただいたほか、活動を通して企業とクラブとの新たなつながりも生まれました。

### 【環境活動・イベント】



三菱電機 「親子で楽しむ♪夢の島野外教室」  
(東京都江東区)



バンダイナムコ&いきものみっけファーム in  
山梨中央 「田植え体験!」(山梨県中央市)



佐川急便 「夏の里山体験」  
(東京都八王子市)



プロントコーポレーション&子どもエコクラブ  
緑の活動「大分県での植樹」

【教材の配布】



林事務所「災害から学ぼう」  
メッセージブック増刷

【コンクール等の実施】



ジャパンビバレッジグループ「ぼくとわたしのリサイクル作文コンクール」



日本印刷産業連合会グリーン  
プリンティング事務局「『印刷と私』エッセイ・作文コンテスト」



ブリヂストン「こどもエコ絵画  
コンクール」



山田養蜂場「ミツバチの  
一枚画コンクール」



ライオン「雨活アイデア  
コンテスト」

【アシストプログラム】

パートナーになっていただいている企業・団体、地域事務局の自治体が有する環境学習教材やプログラム等を「アシストプログラム」としてウェブサイトで紹介しています。

アシストプログラム一覧(2018年3月現在)

区分	企業・自治体名	プログラム名	対象地域
資料・教材	滋賀県大津市	環境学習サポーター	大津市内
	三井住友銀行	環境情報誌 JUNIOR SAFE	全国
体験・学習プログラム	岡山県	おかやま環境学習プログラム集	岡山県内
	大阪府東大阪市	東大阪市環境教育出前講座	東大阪市内
	地球市民交流センター	「モリコロパークの環境学習」の夏休みプログラム 特別ご優待!	東海地方、全国
	エフピコ	使用済みトレイの選別センター・リサイクル工場見学等	センター・工場の近隣地域
	キリン	工場見学ツアー(全7ヶ所)	工場の近隣地域



区分	企業・自治体名	プログラム名	対象地域
体験・学習 イベント	SG ホールディングス	稲刈り体験	近畿
	日本ハム	「みんなの森林」活動(兵庫県) サンゴと海の生き物の学習会(沖縄県)	全国から参加 可能
	ブリヂストン	環境ものづくり教室	全国
各種コンク ール	雨水市民の会・ライオン	雨活アイデアコンテスト	全国
	イオンワンパーセントク ラブ	中学生環境作文コンクール	全国
	SG ホールディングス	全国エコ絵画コンクール	全国
	ジャパンビバレッジグル ープ	ぼくとわたしのリサイクル作文コンクール	全国
	ブリヂストン	こどもエコ絵画コンクール	全国
	山田養蜂場	ミツバチの一枚画コンクール ミツバチの童話と絵本のコンクール	全国

また、多くの方にこどもエコクラブについてご賛同・ご支援いただけるよう、こどもエコクラブ応援企業・団体の意見交換会を実施しました。企業・団体が行っている本事業への支援事例を発表いただき、企業・団体同士の交流を推進するとともに、こどもエコクラブ事業について理解を深めていただきました。また、環境省・文部科学省の環境教育に携わる方々にもご挨拶をいただきました。



日時:平成 29 年 11 月 29 日(水) 15:00~17:30

会場:合同庁舎 5 号館(環境省) 19 階 第 2・3 会議室

主催:環境省、公益財団法人日本環境協会

出席者:21 企業・団体 27 名、環境省 3 名、文部科学省 2 名、

こどもエコクラブアドバイザーボード・推進委員会等 4 名、事務局 8 名

### ◎いきものみつけファーム

平成 23 年度から、こどもエコクラブを核として、地方自治体、企業、生産者、大学、NPO 等が協働することにより、子どもたちが身近な生物とのふれあい等の自然体験や農業体験、農作物の販売体験等の社会体験を通じ、環境や食と農、グリーン購入などを学ぶいきものみつけファーム事業を推進しています。各地に産官学民が協働する「いきものみつけファーム推進協議会」を設置し、環境配慮型の農業の普及、環境配慮型商品の流通促進、地域の環境活動リーダーの育成など地域の活性化を図っています。

平成 29 年度は、長野県松本市、秋田県大仙市、滋賀県、長野県長野市、山梨県中央市の協議会において作物の植え付け、収穫、生物観察、食育、流通など様々な活動を繰り広げました。その他、京都府京丹後市で新たな推進協議会の設立の準備を進めています。

今後は協議会の設立支援に加え、それぞれの協議会の経営の自立促進、全国事務局の活動資金確保の方策が課題です。

### ◎Project-D

平成 23 年の東日本大震災で大きな被害を受けた森林や樹木の再生をテーマに、こどもエコクラブを始めとする全国の子どもたちが、①被災地復興のため心を一つに協力する ②遺伝子の攪乱を防ぎ、生物多様性に配慮した森林再生を行う ③子どもたちの環境、地域づくりへの理解を深めるとともに、事業に参加するこどもエコクラブのサポーターや企業担当者等の環境人材の育成を図ることを目的した事業を、平成 23 年度から実施しています。

平成 29 年度は、岩手県北上市で植樹を行い、プロジェクトで応募した里親が育てた全ての苗木を植え終わりました。今後は、これまでに植樹をした福島県郡山市、宮城県東松島市を含め、苗木の健全な成長を助けるため、下草刈りなどの育林活動に力を入れていきます。



いきものみつけファーム in 松本「畑作物収穫体験」(長野県松本市)



いきものみつけファーム in ながの「稲刈り」(長野県長野市)



福島県郡山市での下草刈り



宮城県東松島市の植樹地

## (5) All Japan Youth Eco-club

環境活動・環境学習の充実・発展を目的に、こどもエコクラブでの活動経験のある若者のネットワークとして発足しました。先に述べたように、こどもエコクラブのサポートおよびユースメンバー同士の交流、イベント等の企画を行うなど、様々な活動を進めています。

### ◎「ユースが行く！」連載

ユースが自分のクラブの枠を越えて、他のクラブを取材して活動を紹介したり、自身が実行・参加したエコ活動の報告をしたりする記事「ユースが行く！！」を4回、ウェブサイトに掲載しました。



## ◎環境活動・学習の意欲の向上、ステップアップ

### (1) 地域活動活性化

#### ◎サポーター交流会

クラブのメンバーが意欲を持って活動し、ステップアップしていくためには、日頃から子どもたちをサポートして下さっているサポーターへの働きかけが重要です。全国事務局ではサポーター同士の情報交換や学び合いを進めるため、地域事務局とも連携しながら交流会を企画・開催しました。

千葉県事務局が開催した県内のサポーター・コーディネーターが集まる「こどもエコクラブサポーター交流会」では、こどもエコクラブ全国事務局が講師を務めました。ゲームを通して「なぜエコが必要なのか」を考えるグループワークの後、これまでに実施した活動や訪問した施設、お願いした講師などの中から、「これは！」というお薦め情報を参加者で共有しました。サポーターの交流を通じて、クラブの活動を一層充実させていくことが期待されます。

また青森県では同じく全国事務局が講師となり、サポーター・コーディネーターに加え県内で環境教育に携わる方々が参加する「こどもエコクラブサポーター研修会」を開催していただきました。こどもエコクラブで利用できるツールや情報などの紹介、各参加者からのお薦め情報の提供に加え、壁新聞作りのポイントなどもお伝えしました。青森県では初めての試みでしたが、非常に有益な研修会となりました。

3月に開催された全国フェスティバルの中でもサポーター交流会を実施しました。15クラブ18人のサポーターのほか、コーディネーターも多数参加して熱心な意見交換が行われました。このほか、岩手県、埼玉県、滋賀県、高知県、静岡県富士市でも、事務局がサポーター交流会を開催していただきました。

各地のこどもエコクラブで活動する子どもたちの成長を支える柱となるのがクラブのサポーターです。全国事務局ではこれからも、サポーターのみなさんのスキルアップや交流の機会を提供していきます。





サポーター交流会(千葉県)



サポーター研修会(青森県)

### ◎こどもエコクラブ交流会

岩手県事務局では毎年2回こどもエコクラブの交流会を開催して  
 くださっています。11月には「遠野・薪の駅」で薪割りや炭焼きの  
 体験を行ったほか、2月には「県北青少年の家」でかまくらづくりや  
 雪遊びなどを通して水や氷の性質について学びました。

この他にも多くの自治体がこどもエコクラブの交流会を  
 開催してくださっています(P.32 参照)。



岩手県 こどもエコクラブ交流会



こども環境会議ちば



大阪府 環境キッズファミリー交流  
 フェスタ



高知県 こどもエコクラブ  
 活動発表会

### ◎リアル・ヴォイス☆Premium(プレミアム)

こどもエコクラブの中には、地域に根ざした環境活動を続け  
 る中で多様な主体とつながり、地域の環境保全において中心  
 的な役割を担うまでに成長しているところもあります。これら  
 のクラブの成功の要因・秘訣を、サポーターへのインタビュー  
 を通して明らかにするコンテンツ「リアル・ヴォイス☆  
 Premium」、2017年度は、神奈川県横浜市の「横浜ハッケン  
 ジャー」、高知県香美市の「香美市こどもエコクラブ」の2クラ  
 ブを紹介しました。



## (2) 全国規模での交流と顕彰

### ◎全国エコ活コンクール

子どもたちが日頃のエコ活動をまとめることによって、活動を通して感じたことなどをふりかえるとともに新たな気づきを得るきっかけとすることを目的とした「全国エコ活コンクール」を企画し、全国のクラブに対しては活動をまとめた壁新聞を、個々のメンバーに対しては絵日記を募集しました。

子どもたちが作成した壁新聞・絵日記を「独創性」、「発展性」、「アピール力」、「地域への密着度」を選考基準として、有識者、環境省担当官、企業担当者等からなる「選考委員会」にて審査を行い、壁新聞の環境大臣賞、文部科学大臣賞、日本環境協会賞、協賛企業賞、絵日記の優秀賞等を選定しました。

### ■募集概要

- 募集期間：平成29年10月～平成30年1月6日（金）
- 対象：全国のこどもエコクラブ
- 仕様：壁新聞－模造紙大、縦横自由  
絵日記－A3サイズ、縦
- その他：複数枚数の応募可能

### ■募集結果

- 壁新聞 応募数：196枚
- 絵日記 応募数：294枚

### ■審査結果

- 受賞壁新聞・絵日記 P.37 参照



◆環境大臣賞（壁新聞）

### ◎アースレンジャー認定証の授与

子どもたちの活動を称える「アースレンジャー認定証※」を作成し、1年間に5回以上の活動を報告したメンバー（1,274名）に授与しました。

また、3年間継続活動をしているメンバー（255名）には銀バッジを、6年間継続活動をしているメンバー（34名）には、金バッジを授与しました。

※年間5回以上の活動報告を行い、申請があったメンバーに授与。



認定証/金・銀バッジ

### ◎こどもエコクラブ全国フェスティバルの企画・実施

各地域で子どもたちが展開している活動を紹介して、環境保全活動の定着・拡大を促し、環境人材の育成を図ることを目的として、全国フェスティバルを企画・実施しました。活動をまとめた壁新聞

で選ばれた都道府県代表クラブ、絵日記で選ばれた受賞者が参加し、子どもたちの活動発表・交流や環境に関する企業・団体展示ブースの見学、環境大臣賞の表彰等を行いました。

■こどもエコクラブ全国フェスティバル 2017～輝け☆全国のアースレンジャー！～

○開催日:2018年3月25日(日)

○会場:日本科学未来館(東京都江東区青海2丁目3-6)

○主催:公益財団法人日本環境協会(こどもエコクラブ全国事務局)

○後援:環境省、文部科学省、厚生労働省、消費者庁、

国立研究開発法人科学技術振興機構日本科学未来館、公益社団法人こども環境学会、  
全国小中学校環境教育研究会、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、NHK

○出展企業・団体:アース製薬株式会社、アマノ株式会社、公益財団法人イオンワンパーセントクラブ、  
株式会社イトーキ、SGホールディングスグループ(佐川急便)、株式会社エフピコ、  
王子ホールディングス株式会社、オリンパス株式会社、DOWAエコシステム株式会社、  
トヨタ自動車株式会社、

一般社団法人日本印刷産業連合会グリーンプリンティング認定事務局、

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、文化シャッター株式会社、三井化学株式会社、  
株式会社山田養蜂場、エコマーク事務局

○協力:井筒まい泉株式会社、MSC(海洋管理協議会)、All Japan Youth Eco-club、  
株式会社ケニス、東京都水道局、一般社団法人日本即席食品工業協会、  
株式会社丸井スズキ、株式会社ミールケア、目白大学、リソー教育グループ、  
株式会社龍角散、早稲田大学学生環境NPO環境ロドリゲス

○参加者:466名

・都道府県代表クラブ:292名(子ども171名、大人121名)

・絵日記受賞メンバー:14名(子ども8名、大人6名)

・一般来場者:15名(子ども4名、大人11名)

・こどもエコクラブ自治体担当者:15名

・企業・団体担当者:59名

・関係者:71名







### (3) 他団体からの表彰

2017年度も、多くのクラブがコンクールで受賞したり、長年の活動を評価されて表彰を受けたりしました。その一部をご紹介します。

都道府県名	市区町村名	クラブ名	賞名	主催者/コンクール名
秋田県	秋田市	ひろおもてエコクラブ	環境大賞	秋田県
茨城県	水戸市	逆川子どもエコクラブ	審査員特別賞	環境省 子どもホタレンジャー活動
茨城県	大子町	袋田小学校 ふくろだエコクラブ	地域環境保全功労者 環境大臣表彰	環境省
栃木県	宇都宮市	ボーイスカウト宇都宮第15団	審査員特別賞	とちぎのエコキーパーをさがせ!Vol.8
埼玉県	川口市	自然探検ロボックルくらぶ	日本自然保護大賞 (子ども・学生部門)	日本自然保護協会
埼玉県	越谷市	越谷市立大袋東小学校	最優秀次世代賞	低炭素杯 2018
埼玉県	宮代町	MIYASHIRO エコ☆スターズ	地球温暖化防止活動 環境大臣表彰	環境省
東京都	品川区	品川区立山中小学校おやこエコクラブ	優良賞(ジュニア・キッズ部門)	低炭素杯 2018
新潟県	南魚沼市	第二上田小学校エコクラブ	新潟県 環境賞	新潟県
新潟県	南魚沼市	第二上田小学校エコクラブ	優秀賞(学校団体部門・個人部門)	昭和シェル石油 環境フォト・コンテスト「わたしのまちの〇と×」
静岡県	湖西市	今川子ども自然クラブ	水環境保全賞	環境省 子どもホタレンジャー活動
愛知県	名古屋市	ゴーウィングス	優秀賞	愛知県「水質パトロール隊」

都道府県名	市区町村名	クラブ名	賞名	主催者/コンクール名
愛知県	豊明市	豊明エコキッズ	優秀賞	愛知県「水質パトロール隊」
滋賀県	大津市	TANAKAMI こども環境クラブ	応援の花咲いた賞	滋賀県 淡海の川づくりフォーラム
滋賀県	草津市	草津市立渋川小学校	2018 年学校自慢エコ大賞	学校自慢エコ大賞実行委員会
滋賀県	草津市	草津市立渋川小学校	文部科学大臣賞(学生生活動分野)・オーディエンス賞	低炭素杯 2018
滋賀県	甲賀市	いきものみつけ寺子屋	入賞	滋賀県 淡海の川づくりフォーラム
大阪府	大阪市	大阪市立新北島中学校 科学技術部	佳作・指導奨励賞	毎日新聞社・自然科学観察研究会 自然科学観察コンクール
兵庫県	神戸市	玉ーアクアリウム	グランプリ	滋賀県 淡海の川づくりフォーラム
徳島県	吉野川市	あわっ子！エコ！クラブ	入賞	徳島県「環境にやさしい農業」絵画コンクール
長崎県	佐世保市	だいやエコクラブ	優秀賞	ベネッセ教育総合研究所 夏のチャレンジ 全国小学生「未来をつくる」コンクール環境部門
長崎県	佐世保市	だいやエコクラブ	優秀賞・入選	佐世保市立図書館 図書館を使った調べる学習コンクール
熊本県	八代市	日奈久小学校体育・環境委員会、5年生	地域環境保全功労者 環境大臣表彰	環境省
熊本県	益城町	広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)	子どもと親子のエコ未来賞	環境省 グッドライフアワード
熊本県	益城町	広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)	金賞(個人部門)	昭和シェル石油 環境フォト・コンテスト「わたしのまちの〇と×」
熊本県	益城町	広西地球環境クラブ(広安西小学校環境委員会)	優良賞(ジュニア・キッズ部門)	低炭素杯 2018
鹿児島県	鹿児島市	西伊敷小学校こどもエコクラブ	優良賞(ジュニア・キッズ部門)	低炭素杯 2018

# ● 地域事務局の取組事例

地域事務局においても、さまざまな形で子どもエコクラブを推進しています。

## (1) 子どもエコクラブ関連記事(紹介・募集)の掲載

### ◆ 広報紙・ウェブサイト等



東京都稲城市「広報いなぎ」



兵庫県伊丹市「広報伊丹」



福島県郡山市「郡山市のかんきょう」



岩手県盛岡市 ウェブサイト



埼玉県春日部市 ウェブサイト



大阪府 ウェブサイト



島根県松江市 ウェブサイト



◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	—	埼玉県	戸田市	長野県	長野市	兵庫県	加古川市
北海道	札幌市	埼玉県	朝霞市	長野県	松本市	奈良県	奈良市
北海道	函館市	埼玉県	久喜市	長野県	岡谷市	和歌山県	—
北海道	小樽市	埼玉県	吉川市	長野県	茅野市	鳥取県	—
北海道	室蘭市	埼玉県	寄居町	長野県	佐久市	鳥取県	米子市
北海道	釧路市	千葉県	—	長野県	千曲市	島根県	—
北海道	北見市	千葉県	市川市	岐阜県	岐阜市	島根県	松江市
北海道	網走市	千葉県	船橋市	岐阜県	可児市	島根県	浜田市
北海道	羽幌町	千葉県	市川市	静岡県	—	島根県	出雲市
青森県	—	千葉県	船橋市	静岡県	浜松市	岡山県	—
青森県	青森市	千葉県	佐倉市	静岡県	沼津市	岡山県	倉敷市
青森県	八戸市	千葉県	習志野市	静岡県	富士市	岡山県	井原市
岩手県	—	千葉県	市原市	静岡県	藤枝市	岡山県	浅口市
岩手県	盛岡市	千葉県	八千代市	静岡県	湖西市	広島県	—
岩手県	遠野市	千葉県	香取市	愛知県	—	広島県	広島市
岩手県	雫石町	東京都	新宿区	愛知県	岡崎市	広島県	福山市
宮城県	—	東京都	江東区	愛知県	一宮市	山口県	—
宮城県	石巻市	東京都	世田谷区	愛知県	半田市	山口県	宇部市
宮城県	気仙沼市	東京都	中野区	愛知県	春日井市	山口県	山口市
宮城県	多賀城市	東京都	豊島区	愛知県	豊田市	山口県	岩国市
宮城県	利府町	東京都	北区	愛知県	江南市	愛媛県	今治市
秋田県	—	東京都	練馬区	愛知県	小牧市	愛媛県	西条市
秋田県	秋田市	東京都	足立区	愛知県	稲沢市	高知県	—
秋田県	横手市	東京都	八王子市	愛知県	日進市	福岡県	—
秋田県	由利本荘市	東京都	武蔵野市	愛知県	東浦町	福岡県	北九州市
山形県	—	東京都	町田市	三重県	—	福岡県	筑紫野市
福島県	—	東京都	稲城市	三重県	津市	福岡県	春日市
福島県	福島市	神奈川県	—	三重県	四日市市	福岡県	大野城市
福島県	会津若松市	神奈川県	横浜市	三重県	松阪市	福岡県	太宰府市
福島県	郡山市	神奈川県	相模原市	三重県	鳥羽市	福岡県	朝倉市
福島県	いわき市	神奈川県	横須賀市	三重県	志摩市	佐賀県	—
茨城県	—	神奈川県	平塚市	滋賀県	—	佐賀県	佐賀市
茨城県	日立市	神奈川県	藤沢市	滋賀県	大津市	長崎県	—
茨城県	北茨城市	神奈川県	茅ヶ崎市	滋賀県	草津市	長崎県	佐世保市
茨城県	ひたちなか市	神奈川県	大和市	京都府	木津川市	長崎県	大村市
栃木県	—	神奈川県	南足柄市	大阪府	—	熊本県	—
栃木県	宇都宮市	神奈川県	綾瀬市	大阪府	大阪市	熊本県	人吉市
栃木県	栃木市	新潟県	—	大阪府	堺市	大分県	—
栃木県	真岡市	新潟県	長岡市	大阪府	高槻市	大分県	大分市
栃木県	那須烏山市	新潟県	三条市	大阪府	茨木市	宮崎県	—
群馬県	—	新潟県	柏崎市	大阪府	寝屋川市	宮崎県	宮崎市
群馬県	前橋市	富山県	—	大阪府	大東市	宮崎県	都城市
群馬県	高崎市	富山県	高岡市	大阪府	東大阪市	鹿児島県	—
群馬県	伊勢崎市	石川県	金沢市	大阪府	交野市	鹿児島県	鹿屋市
埼玉県	—	福井県	—	大阪府	阪南市	鹿児島県	指宿市
埼玉県	さいたま市	福井県	福井市	兵庫県	神戸市	鹿児島県	霧島市
埼玉県	川越市	福井県	越前市	兵庫県	姫路市	沖縄県	—
埼玉県	川口市	山梨県	—	兵庫県	尼崎市	沖縄県	那覇市
埼玉県	所沢市	長野県	—	兵庫県	伊丹市	沖縄県	浦添市

## (2) 地域クラブのメンバー募集と運営



栃木県宇都宮市 クラブページ



鳥取県米子市  
クラブページ

### ◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	北見市	千葉県	習志野市	長野県	飯田市	京都府	木津川市
福島県	福島市	東京都	新宿区	静岡県	三島市	兵庫県	姫路市
福島県	会津若松市	東京都	杉並区	静岡県	富士市	兵庫県	相生市
茨城県	龍ヶ崎市	東京都	立川市	静岡県	藤枝市	兵庫県	たつの市
栃木県	宇都宮市	東京都	調布市	愛知県	半田市	鳥取県	米子市
群馬県	前橋市	神奈川県	相模原市	愛知県	豊田市	広島県	福山市
埼玉県	坂戸市	長野県	松本市	滋賀県	大津市	佐賀県	鹿島市
千葉県	市川市	長野県	岡谷市	滋賀県	多賀町	沖縄県	南風原町

## (3) ニュースレターの発行



栃木県 とちぎこどもエコクラブ  
ニュースレター



福岡県春日市  
こどもエコクラブ事務局だより

### ◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
岩手県	—	群馬県	—	福岡県	春日市
栃木県	—	千葉県	—		

(4) 交流会等 環境イベントの開催



北海道札幌市  
こどもエコクラブ交流会



群馬県  
こどもエコクラブ学習会



埼玉県  
SAITAMA 環境フェア &  
こどもエコフェスティバル



千葉県市川市  
壁新聞・絵日記展示会 2018



滋賀県  
サポーター交流会



福岡県  
こどもエコクラブ 京築生きもの探検隊

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	札幌市	埼玉県	川越市	愛知県	豊田市	岡山県	—
青森県	—	埼玉県	越谷市	三重県	—	広島県	広島市
岩手県	—	千葉県	—	滋賀県	—	高知県	—
福島県	郡山市	千葉県	市川市	滋賀県	草津市	福岡県	—
群馬県	—	千葉県	浦安市	大阪府	—	福岡県	春日市
埼玉県	—	静岡県	富士市	鳥取県	米子市	熊本県	—

(5) クラブへの助成金・物品支援・講師派遣等



福井県  
こどもエコクラブ活動促進事業



大分県  
「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」  
による県内こどもエコクラブへの支援



◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
秋田県	—	福井県	永平寺町	鳥取県	北栄町	長崎県	—
栃木県	—	静岡県	藤枝市	山口県	山口市	熊本県	—
埼玉県	—	滋賀県	—	福岡県	—	大分県	—
福井県	—	鳥取県	—	佐賀県	—		

(6) こどもエコクラブ活動報告書等の発行・配布



北海道函館市



秋田県



埼玉県川越市



福岡県

◆実施自治体(全国事務局にて把握しているもの)

都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村	都道府県	市区町村
北海道	函館市	茨城県	—	埼玉県	川越市	三重県	—
秋田県	—	群馬県	—	埼玉県	越谷市	福岡県	—

## ◎協賛・協力いただいた企業・団体

本事業の実施・運営に関して、様々な企業・団体の皆さまからの支援・連携を募り、「パートナー」「寄附」等により実施・運営を行っております。

### ■パートナー（パートナー会員及びイベント協賛企業・団体）（59 社）

アース製薬	アトリエはるか	アマノ	イオン 1%クラブ
市流	イトーキ	SG ホールディングス グループ(佐川急便)	エフピコ
塩ビ工業・環境協会	王子ホールディングス	岡山東法人会	オリンパス
教育出版	共立駐車場工事	共立理化学研究所	キリン
ケニス	サラヤ	シミズオクト	清水建設
昭和シェル石油	住商フーズ	3R 活動推進フォーラム	高杉製薬
タカラトミー	鉄建建設	東京国際フォーラム	東京建物
東洋ライス	東レ	DOWA エコシステム	トヨタ自動車
西日本ビル代行	ニッポンハムグループ	日本印刷産業連合会・ グリーンプリンティング 認定事務局	日本即席食品工業協会
日本容器包装 リサイクル協会	長谷エコーポレーション	林事務所	バンダイナムコ ホールディングス
ブリヂストン	文化シャッター	マツモトキヨシ ホールディングス	ミールケア
三井化学	三井住友海上火災保険	三井住友銀行	三菱地所
三菱地所設計	三菱地所リテール マネジメント	三菱地所レジデンス	三菱電機
山田養蜂場	ライオン	リード	リソー教育グループ
龍角散	ロックペイント	ワイス・ワイス	

### ■寄附

#### 【企業・団体】

ジャパンビバレッジ グループ	積水化学工業	全労済	電通
東京都民銀行	西久大運輸倉庫	プロントコーポレーション	こどもエコクラブ(4 クラブ)

#### 【個人・その他】

木幡 ルミ子様	他 4 名	T ポイントジャパン
かざして募金 2 名	古本募金 (団体 6、個人 8)	

# 登録データほか

## 平成 29 年度都道府県別登録データ

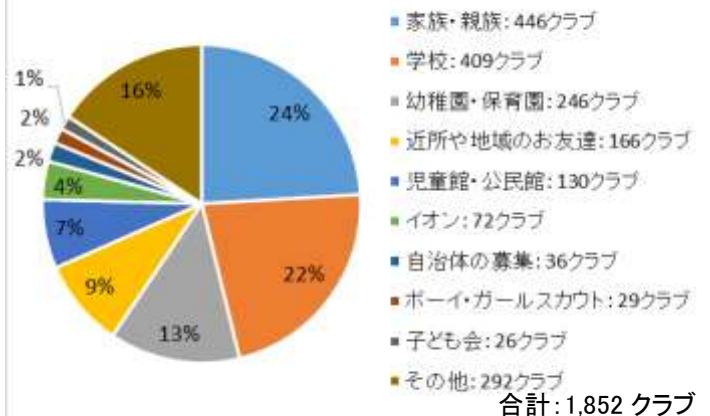
県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
北海道	24	577	141
青森県	31	1,486	345
岩手県	28	784	256
宮城県	10	2,635	181
秋田県	31	2,565	380
山形県	2	25	7
福島県	9	213	50
茨城県	39	2,331	394
栃木県	44	3,820	585
群馬県	45	1,300	270
埼玉県	126	13,543	2,625
千葉県	67	3,744	548
東京都	116	7,155	905
神奈川県	40	1,504	394
新潟県	30	1,204	185
富山県	39	1,246	168
石川県	11	380	134
福井県	31	1,666	140
山梨県	3	145	16
長野県	24	1,123	250
岐阜県	50	1,641	229
静岡県	77	2,866	627
愛知県	109	6,481	881
三重県	57	12,268	392

県名	クラブ数	メンバー数	サポーター数
滋賀県	77	4,929	380
京都府	6	220	40
大阪府	36	1,115	304
兵庫県	208	2,578	746
奈良県	8	95	63
和歌山県	4	84	31
鳥取県	68	6,234	2,215
島根県	15	500	145
岡山県	37	1,990	399
広島県	41	1,057	183
山口県	16	335	64
徳島県	4	102	37
香川県	5	134	44
愛媛県	6	108	68
高知県	13	111	51
福岡県	101	3,283	792
佐賀県	32	2,143	556
長崎県	19	745	118
熊本県	21	1,149	142
大分県	43	1,786	410
宮崎県	10	383	100
鹿児島県	22	1,318	146
沖縄県	17	556	117
合計	1,852	101,657	17,254

○登録メンバー 学年内訳



○登録クラブ形態





■平成 29 年度 地域事務局登録一覧（47 都道府県 461 市区町村）

北海道	札幌市	函館市	旭川市	室蘭市	釧路市	北見市	網走市
	苫小牧市	伊達市	石狩市	羽幌町			

青森県	青森市	弘前市	八戸市	五所川原市	十和田市	平内町	外ヶ浜町
-----	-----	-----	-----	-------	------	-----	------

岩手県	盛岡市	宮古市	北上市	遠野市	釜石市	奥州市	雫石町
	岩泉町						

宮城県	仙台市	石巻市	気仙沼市	多賀城市	利府町	女川町
-----	-----	-----	------	------	-----	-----

秋田県	秋田市	横手市	大館市	由利本荘市	大仙市	にかほ市
-----	-----	-----	-----	-------	-----	------

山形県	酒田市	新庄市
-----	-----	-----

福島県	福島市	会津若松市	郡山市	いわき市	喜多方市	相馬市	二本松市
	伊達市	会津美里町					

茨城県	水戸市	日立市	土浦市	古河市	龍ヶ崎市	北茨城市	笠間市
	取手市	つくば市	ひたちなか市	守谷市	坂東市	神栖市	茨城町
	東海村	大子町					

栃木県	宇都宮市	足利市	栃木市	佐野市	鹿沼市	日光市	小山市
	真岡市	大田原市	矢板市	那須塩原市	さくら市	那須烏山市	下野市
	上三川町	益子町	茂木町	市貝町	芳賀町	壬生町	

群馬県	前橋市	高崎市	桐生市	伊勢崎市	太田市	沼田市	渋川市
	富岡市	安中市	みどり市	榛東村	下仁田町	片品村	川場村
	昭和村	みなかみ町	千代田町	大泉町			

埼玉県	さいたま市	川越市	熊谷市	川口市	秩父市	所沢市	飯能市
	加須市	春日部市	狭山市	上尾市	草加市	越谷市	戸田市
	入間市	朝霞市	志木市	新座市	久喜市	八潮市	富士見市
	三郷市	坂戸市	幸手市	鶴ヶ島市	吉川市	ふじみ野市	三芳町
	小川町	寄居町	宮代町				

千葉県	千葉市	市川市	船橋市	木更津市	松戸市	野田市	茂原市
	成田市	佐倉市	習志野市	柏市	市原市	八千代市	我孫子市
	浦安市	印西市					

東京都	中央区	新宿区	江東区	品川区	世田谷区	中野区	杉並区
	豊島区	北区	荒川区	板橋区	練馬区	足立区	葛飾区
	江戸川区	八王子市	立川市	武蔵野市	三鷹市	青梅市	府中市
	調布市	町田市	小平市	東大和市	武蔵村山市	稲城市	

神奈川県	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	平塚市	鎌倉市	藤沢市
	小田原市	茅ヶ崎市	厚木市	大和市	綾瀬市		

新潟県	新潟市	長岡市	三条市	柏崎市	十日町市	糸魚川市	妙高市
	上越市	阿賀野市	佐渡市	魚沼市	南魚沼市	粟島浦村	

富山県	高岡市	魚津市	砺波市
-----	-----	-----	-----

石川県	金沢市	羽咋市	白山市	津幡町
-----	-----	-----	-----	-----

福井県	福井市	鯖江市	越前市	坂井市	永平寺町	若狭町
-----	-----	-----	-----	-----	------	-----

山梨県	甲府市	都留市
-----	-----	-----

長野県	長野市	松本市	上田市	岡谷市	飯田市	小諸市	伊那市
	茅野市	佐久市	千曲市	坂城町	飯綱町		

岐阜県	岐阜市	大垣市	多治見市	関市	恵那市	美濃加茂市	各務原市
	可児市	笠松町					

静岡県	静岡市	浜松市	沼津市	熱海市	三島市	富士宮市	島田市
	富士市	磐田市	焼津市	藤枝市	御殿場市	袋井市	下田市
	裾野市	湖西市	菊川市	牧之原市	川根本町		

愛知県	名古屋市	豊橋市	岡崎市	一宮市	瀬戸市	半田市	春日井市
	豊川市	津島市	豊田市	安城市	蒲郡市	江南市	小牧市
	稲沢市	日進市	東浦町	南知多町			

三重県	津市	四日市市	伊勢市	松阪市	鈴鹿市	尾鷲市	鳥羽市
	志摩市	玉城町					

滋賀県	大津市	彦根市	長浜市	草津市	高島市	日野町	多賀町
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

京都府	京都市	宮津市	京丹後市	木津川市
-----	-----	-----	------	------

大阪府	大阪市	堺市	豊中市	泉大津市	高槻市	守口市	茨木市
	八尾市	寝屋川市	河内長野市	大東市	和泉市	箕面市	高石市
	東大阪市	交野市	阪南市				

兵庫県	神戸市	姫路市	尼崎市	芦屋市	伊丹市	相生市	加古川市
	宝塚市	篠山市	たつの市				

奈良県	奈良市	天理市	桜井市	斑鳩町
-----	-----	-----	-----	-----

和歌山県	和歌山市	海南市	橋本市	有田市	御坊市	田辺市	新宮市
	紀の川市	岩出市	紀美野町	かつらぎ町	九度山町	高野町	湯浅町
	広川町	有田川町	美浜町	日高町	由良町	印南町	みなべ町
	日高川町	白浜町	上富田町	すさみ町	那智勝浦町	太地町	古座川町
	北山村	串本町					

鳥取県	鳥取市	米子市	倉吉市	若桜町	八頭町	三朝町	湯梨浜町
	琴浦町	北栄町					

島根県	松江市	浜田市	出雲市	益田市
-----	-----	-----	-----	-----

岡山県	岡山市	倉敷市	高梁市	浅口市	矢掛町
-----	-----	-----	-----	-----	-----

広島県	広島市	呉市	尾道市	福山市	大竹市	江田島市
-----	-----	----	-----	-----	-----	------

山口県	下関市	宇部市	山口市	萩市	岩国市	周南市	山陽小野田市
-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	--------

徳島県	徳島市	阿南市
-----	-----	-----

香川県	高松市	東かがわ市
-----	-----	-------

愛媛県	松山市	今治市	西条市
-----	-----	-----	-----

高知県	室戸市
-----	-----

福岡県	北九州市	福岡市	大牟田市	久留米市	飯塚市	柳川市	小郡市
	筑紫野市	春日市	大野城市	太宰府市	古賀市	朝倉市	

佐賀県	佐賀市	唐津市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市	江北町
-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----

長崎県	長崎市	佐世保市	諫早市	大村市	平戸市	南島原市
-----	-----	------	-----	-----	-----	------

熊本県	熊本市	八代市	人吉市	荒尾市	水俣市	宇土市	上天草市
	天草市	益城町	山都町	芦北町	あさぎり町		

大分県	大分市	別府市	日田市	佐伯市	杵築市	宇佐市
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

宮崎県	宮崎市	都城市	延岡市	五ヶ瀬町
-----	-----	-----	-----	------

鹿児島県	鹿児島市	鹿屋市	指宿市	日置市	霧島市	奄美市	始良市
	大崎町	瀬戸内町					

沖縄県	那覇市	浦添市	沖縄市	宮古島市	金武町	与那原町	南風原町
	八重瀬町	竹富町					



# ◎エコ活コンクール 受賞作品

## ■壁新聞部門

### 環境大臣賞



タイトル:「水はどこから」  
せいわエコクラブ(大阪府大阪市)

### 文部科学大臣賞



タイトル:「明石川を食べる」  
玉一アクアリウム(兵庫県神戸市)

### 日本環境協会賞



タイトル:「里山は知恵がいっぱい!」  
～むかしの生活が持続可能な社会につながる～  
今川こども自然クラブ(静岡県湖西市)

### 三井住友銀行賞



タイトル:「エコ活ええこと新聞」  
あわっ子!エコ!クラブ(徳島県吉野川市)

エコマーク賞



タイトル:「ゴミ・リサイクルについて」  
明和イオンチアーズクラブ(三重県明和町)

幼児部門 「ミールケア・エコまる賞」



タイトル:「だいすき たかおか ちきゅうにやさしく  
プロジェクト」  
高岡市合同エコクラブ(富山県高岡市)



タイトル:「え〜こ・レンジャー  
つきぐみレンジャー新聞」  
柱本保育園こども未来学舎 え〜こ・レンジャー  
(大阪府高槻市)



■絵日記部門 優秀賞



タイトル:「だんぶり池作業始め」  
HEP21エコクラブ  
山谷 圭汰さん(青森県弘前市)



タイトル:「ちよっぴりこわかった むしさがし」  
もりの学舎キッズクラブ  
ハンプレ 沙弥さん(愛知県長久手市)



タイトル:「心臓バクバク! 第7回生物多様性全国  
ミーティングシンポジウムで」  
玉一アクアリウム  
石間伏 璃青さん(大阪府大阪市)



タイトル:「たな田の草かり」  
わくわくエコクラブ  
辻橋 穂登さん(岡山県津山市)



地球のワクワク！ 発見しよう

## こどもエコクラブ

私が主役！ なかまと一緒に未来をつくる

こどもエコクラブは、子どもたちが地域で行う継続的な環境活動・学習のクラブです。仲間と一緒に、身近な場所で活動を積み重ねながら、自主的に人と環境とのかかわりを学びます。

### ■子どもたちの「ワクワク！」を応援します

子どもたちが、自然への興味関心をきっかけに、自然を守ることが地球にとって大切なだけでなく、人間の生活にとっても大切であることを知る環境活動・学習を支援します。身の回りの自然からさまざまな発見をし、他の生物同様、生態系の一部である人間の生活に応用することができる。そんな能力を身につけながら育ちます。

### ■子どもたちの「生きる力」を育みます

子どもたちが、エコ活動の意味を本質的に理解できる機会をつくと共に、なかまと一緒に活動することを支援します。身の回りの出来事や定見から、現在の社会とのギャップを自ら見つけ出すことで、未来の理想的な社会と将来の自分を重ね合わせ、社会的な課題を解決できる大人になる。そんな大きな目標を心に宿して育ちます。

### ■子どもたちの「地域を愛する心」を培います

子どもたちの、身近な地域の身近な自然を大切に思う、思いやりの心を育むことを支援します。身の回りの自然からの発見を重ねることで、感受性豊かな子どもたちは、自分のまちのすばらしさを感じ、探求し、愛し、主体的に守ろうとする。そんなまちの博士へと育ちます。





公益財団法人日本環境協会

こどもエコクラブ全国事務局

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 1-4-16

馬喰町第一ビル 9 階

TEL 03-5643-6251 E-mail [j-ecoclub@eic.or.jp](mailto:j-ecoclub@eic.or.jp)